

【シラバスⅡ】令和7年度 評価規準

教科名 保健体育		科目名 保健（2年）		
時期	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
4～7月	<p>【生涯を通じる健康】</p> <p>ア 生涯の各段階（ライフステージ）における健康</p> <p>イ 労働と健康</p>	<p>○思春期における心身の発達や性的成熟に伴い健康課題が生じることができる。</p> <p>○受精・妊娠・出産とそれに伴う健康課題や、家族計画の意義、人工妊娠中絶の心身への影響について理解することができる。</p> <p>○加齢に伴い、心身の機能や形態が個人差をもって変化することを理解することができる。</p> <p>○労働災害防止のために、作業形態や作業環境の改善、過重労働の防止を含む健康・安全管理が必要であることを理解することができる。</p>	<p>○現代社会と健康・安全な社会生活とに関わる事象や情報から、自他や社会の課題を発見することができる。</p>	<p>○学習や実習、活動に自主的・主体的に取り組むことができる。</p>
8～12月	<p>【健康を支える環境づくり】</p> <p>ア 環境と健康</p> <p>イ 食品と健康</p>	<p>○人間の生活や産業活動は自然環境汚染を起し健康被害をもたらすことを理解することができる。</p> <p>○環境基本法により、総合的・計画的対策が講じられていることを理解することができる。</p> <p>○環境衛生活動は、自然環境や社会生活及び人々の健康を守るために行われていることを理解することができる。</p> <p>○食品の安全を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解することができる。</p>	<p>○各分野の健康課題について情報や事例を整理し、比較・分析・実生活へ応用することができる。</p> <p>○様々な健康課題における自他や社会の取組について評価することができる。</p> <p>○課題の解決方法を見つけ、適切な選択をすることができる。また、選択した理由等について話し合ったり、記述したりして筋道を立てて説明することができる。</p>	<p>○自他や社会の健康課題および健康の保持増進について興味関心を持つことができる。</p> <p>○他者との意見交換や活動の中で主体的にアイデアを提案・表現し合意形成しながらまとめることができる。</p> <p>○実習・実験を通し実証的な問題解決を自ら主体的に行うことができる。</p>
1～3月	<p>ウ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>エ 様々な保健活動や社会的対策</p> <p>オ 健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<p>○健康の保持増進のために保健・医療サービスなどを適切に活用する必要があることを理解することができる。</p> <p>○医薬品は承認制度により有効性や安全性が審査され、販売規制があることを理解することができる。</p> <p>○世界の健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われているを理解することができる。</p> <p>○自他の健康を保持増進するためにはヘルスプロモーションの考え方に基づいた環境づくりが重要であることを理解することができる。</p>	<p>○課題の解決方法を見つけ、適切な選択をすることができる。また、選択した理由等について話し合ったり、記述したりして筋道を立てて説明することができる。</p>	<p>○他者との意見交換や活動の中で主体的にアイデアを提案・表現し合意形成しながらまとめることができる。</p> <p>○実習・実験を通し実証的な問題解決を自ら主体的に行うことができる。</p>
<p>主な評価方法</p> <p>【全領域（単元）共通】</p>		<p>(1)授業および学習への取り組み方・言動の観察、発問への回答内容等</p> <p>(2)ノート・プリント・学習カード等への記述の仕方や内容等</p> <p>(3)意見の共有・ブレインストーミング・ロールプレイング・グループディスカッション・調査研究および発表・情報整理と考察・プレゼンテーション等の活動の過程における言動観察および成果物・発表内容等</p> <p>(4)定期考査</p>		
<p>その他 (1)「主な評価方法」に挙げる項目に基づいて、各観点を横断的・総合的に評価する。</p> <p>(2)授業数によって実施時期が多少前後することがある。その際は、前・後期末ごとにそこまで授業で取り扱った単元を「内容のまとめ」として評価する。</p>				